

平成23年度  
水生生物調査のまとめ

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所計画課

## はじめに

河川の「水生生物による水質の簡易調査」は、川底にすんでいる生物を調査することにより、水の汚れ具合を判定するため、一般の人々でも手軽にできる水質調査です。

この簡易調査は、水のきれいさの程度を「きれいな水（水質階級Ⅰ）」、「ややきれいな水（水質階級Ⅱ）」、「きたない水（水質階級Ⅲ）」、「とてもきたない水（水質階級Ⅳ）」の4階級にわけ、その水質判定の目安となるカワゲラ・トビゲラ・ヘビトンボなどの肉眼で見える大きさの水生生物（30種類）に限定し、どの生物が主にどの階級に生息しているかを調べることで水質の判定を行うものです。特別な器具や難しい計算などは必要としません。

このことから国土交通省では、多くの人々に川をよく知ってもらい水質にもっと関心を持っていただくため、小・中・高校生や一般の人々のご協力のもとにこの調査を実施しています。

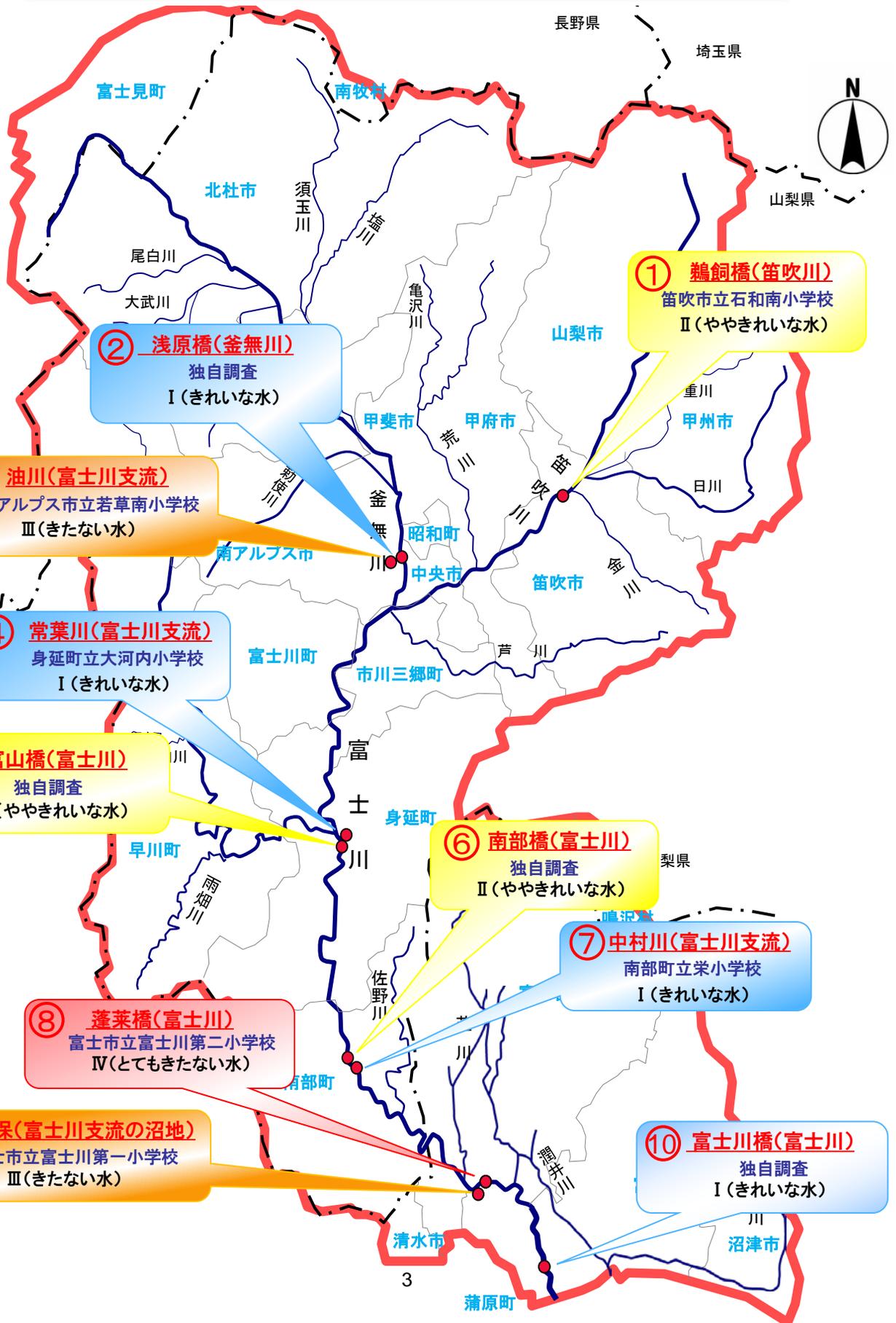
この調査を通じて一人でも多くの人々に河川を理解していただき、川をきれいに、大切にするという河川愛護の精神が広がればと考えています。

## 水生生物調査開始年からの水質階級（本川調査結果）

河川名	調査地点	S.59	S.60	S.61	S.62	S.63	H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	
釜無川	船山橋	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	
	信玄橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	
	浅原橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
	三郡西橋	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士川	飯富橋	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	-	
	富山橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	
	南部橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	
	蓬萊橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ
	富士川橋	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	
笛吹川	亀甲橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	
	鶉飼橋	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	
	三郡東橋	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	-	
日川	日川橋	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-	-	-	
重川	重川橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	-	-	-	-	-	

[Ⅰ]きれいな水、[Ⅱ]ややきれいな水、[Ⅲ]きたない水、[Ⅳ]とてもきたない水

# 平成23年度 水生生物調査結果



## 各地点の調査結果

①[本川]鵜飼橋：笛吹市立石和南小学校	5
②[本川]浅原橋：独自調査	8
③[支川]油川：南アルプス市立若草南小学校	11
④[支川]常葉川：身延町立大河内小学校	14
⑤[本川]富山橋：独自調査	17
⑥[本川]南部橋：独自調査	20
⑦[支川]中村川：南部町立栄小学校	23
⑧[本川]蓬莱橋：富士市立富士川第二小学校	26
⑨[支川]沼久保：富士市立富士川第一小学校	29
⑩[本川]富士川橋：独自調査	32

①[本川]鵜飼橋：笛吹市立石和南小学校

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	笛吹川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	鵜飼橋右岸	所在地	山梨県笛吹市市部	調査日	平成 23 年 7 月 1 日

調査に参加した学校名：笛吹市立石和南小学校

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.2（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れが少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、I がきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：II（ややきれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れが少ない水となった。また、指標生物による水質階級においても II（ややきれいな水）となった。化学的に見ても、生物的に見ても同じような結果となり、調査地点の汚れは少ないといえる。コガタシマトビケラ類、シマイシビルなどの指標生物のほか、ヒゲナガカワトビケラ、ナベブタムシ、ヤゴ、ヨシノボリ、アブラハヤなどの水生生物も確認できた。また、石の裏側ではヨシノボリの卵やトビケラ類の巣も確認することができた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	笛吹川		事務所名	甲府河川国道事務所								
調査地点	鵜飼橋右岸		所在地	山梨県笛吹市市部		調査日	平成23年7月1日								
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定															
I	きれいな水	数	判定	II	ややきれいな水	数	判定	III	きたない水	数	判定	IV	とてもきたない水	数	判定
	アミカ類			◎イシマキカイ				◎イソコツブムシ				アメリカザリガニ			
	ナミウズムシ			オオシマトビケラ				タイコウチ				エラミミズ			
	カワゲラ類	3	○	カワニナ類				タニシ類				サカマキガイ			
	サワガニ			ゲンジボタル				◎ニホンドロソエビ				ユスリカ類			
	ナガレトビケラ類	1	○	コオニヤンマ	1	○		シマイシビル	4	●		チョウバエ類	1	○	
	ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類	4	●		ミズカマキリ							
	ブユ類			スジエビ				ミズムシ							
	ヘビトンボ			ヒラタドROMシ											
	ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ											
1.	○と●の個数		2	1.	○と●の個数		2	1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		1
2.	●の個数			2.	●の個数		1	2.	●の個数		1	2.	●の個数		
3.	合計		2	3.	合計		3	3.	合計		2	3.	合計		1
調査結果 II								指標生物出現数	6						

### 調査状況写真



## ②[本川]浅原橋：独自調査

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	富士川（釜無川）	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	浅原橋付近	所在地	南アルプス藤田	調査日	平成 23 年 10 月 19 日

調査に参加した学校名：なし

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.0（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：3（汚れの少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：I（きれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れの少ない水となった。また、指標生物による水質階級においても I（きれいな水）となった。化学的に見ても、生物的に見ても同じような結果となり、調査地点の汚れは少ないといえる。そのほか、カゲロウ類やアブラハヤ、ヨシノボリなどの指標生物以外の生物も多く確認できた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	富士川（釜無川）		事務所名	甲府河川国道事務所								
調査地点	浅原橋付近		所在地	南アルプス市藤田		調査日	平成23年10月19日								
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定															
I	きれいな水	数	判定	II	ややきれいな水	数	判定	III	きたない水	数	判定	IV	とてもきたない水	数	判定
	アミカ類			◎イシマキカイ				◎イソコツブムシ				アメリカザリガニ			
	ナミウズムシ			オオシマトビケラ				タイコウチ				エラミミズ			
	カワゲラ類	1	●	カワニナ類				タニシ類				サカマキガイ			
	サワガニ			ゲンジボタル				◎ニホンドロソコエビ				ユスリカ類			
	ナガレトビケラ類			コオニヤンマ				シマイシビル				チョウバエ類			
	ヒラタカゲロウ類	1	●	コガタシマトビケラ類				ミズカマキリ							
	ブユ類	10	●	スジエビ				ミズムシ							
	ヘビトンボ			ヒラタドロムシ	1	●									
	ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ											
1. ○と●の個数			3	1. ○と●の個数			1	1. ○と●の個数			1	1. ○と●の個数			1
2. ●の個数			3	2. ●の個数			1	2. ●の個数			1	2. ●の個数			1
3. 合計			6	3. 合計			2	3. 合計			2	3. 合計			2
調査結果			I	指標生物出現数			4								

### 調査状況写真



③[支川]油川　：南アルプス市立若草南小学校

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	油川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	油川下流	所在地	南アルプス藤田	調査日	平成 23 年 9 月 28 日

調査に参加した学校名：南アルプス市立若草南小学校

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大き  
いとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.3（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚  
れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4  
～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れが少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、  
I がきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：Ⅲ（きたない水）

### 調査結果の総括

台風の影響で富士川が増水しており、現場での調査ができなかったため、油川で調査  
を行った。パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れが少ない水となった  
が、指標生物による水質階級においてはきたない水となった。雨の影響で増水して  
おり、河川水が希釈され COD が低い値を示したと考えられるが、水生生物の種類から通  
常は今回よりも汚れた水が流れていることが予測できた。その他アブラハヤ、ヨシノ  
ボリが多く見られた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川	河川名	油川	事務所名	甲府河川国道事務所						
調査地点	油川下流	所在地	南アルプス市藤田	調査日	平成23年9月28日						
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定											
I きれいな水	数	判定	II ややきれいな水	数	判定	III きたない水	数	判定	IV とてもきたない水	数	判定
アミカ類			◎イシマキカイ			◎イソコツブムシ			アメリカザリガニ	4	●
ナミウズムシ			オオシマトビケラ			タイコウチ			エラミミズ		
カワゲラ類			カワニナ類			タニシ類	1	○	サカマキガイ		
サワガニ			ゲンジボタル			◎ニホンドロソコエビ			ユスリカ類		
ナガレトビケラ類			コオニヤンマ			シマイシビル			チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類			ミズカマキリ					
ブユ類			スジエビ			ミズムシ	3	●			
ヘビトンボ			ヒラタドロムシ								
ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ								
1. ○と●の個数			1. ○と●の個数			1. ○と●の個数		2	1. ○と●の個数		1
2. ●の個数			2. ●の個数			2. ●の個数		1	2. ●の個数		1
3. 合計			3. 合計			3. 合計		3	3. 合計		2
調査結果	III					指標生物出現数	3				

### 調査状況写真



④[支川]常葉川：身延町立大河内小学校

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	常葉川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	常葉川下流	所在地	南巨摩郡身延町波高島	調査日	平成 23 年 8 月 31 日

調査に参加した学校名：身延町立大河内小学校

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.5（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：3（汚れが少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：I（きれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れが少ない水となった。指標生物による水質階級においても I（きれいな水）となった。化学的に見ても、生物的に見ても同じような結果となり、調査地点の汚れは少ないといえる。カワゲラ類、ヘビトンボ、ヒラタカゲロウ類などきれいな水の指標生物が多く見られた。また、アブラハヤ、ヨリノボリ、カジカといった魚も多く見ることができた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川	河川名	常葉川	事務所名	甲府河川国道事務所						
調査地点	常葉川下流	所在地	南巨摩郡身延町波高島	調査日	平成23年8月31日						
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定											
I きれいな水	数	判定	II ややきれいな水	数	判定	III きたない水	数	判定	IV とてもきたない水	数	判定
アミカ類			◎イシマキカイ			◎イソコツブムシ			アメリカザリガニ		
ナミウズムシ			オオシマトビケラ			タイコウチ			エラミミズ		
カワゲラ類	4	●	カワニナ類			タニシ類			サカマキガイ		
サワガニ	1	○	ゲンジボタル			◎ニホンドロソコエビ			ユスリカ類		
ナガレトビケラ類			コオニヤンマ	3	○	シマイシビル			チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類	5	●	コガタシマトビケラ類	3	○	ミズカマキリ					
ブユ類			スジエビ			ミズムシ					
ヘビトンボ	4	●	ヒラタドロムシ	2	○						
ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ								
1. ○と●の個数	4		1. ○と●の個数	3		1. ○と●の個数			1. ○と●の個数		
2. ●の個数	3		2. ●の個数			2. ●の個数			2. ●の個数		
3. 合計	7		3. 合計	3		3. 合計			3. 合計		
調査結果	I			指標生物出現数	7						

### 調査状況写真



⑤[本川]富山橋：独自調査

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	富士川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	富山橋付近	所在地	南巨摩郡身延町波高島	調査日	平成 23 年 10 月 19 日

調査に参加した学校名：なし

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.3（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れの少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：II（ややきれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れの少ない水となった。また、指標生物による水質階級においてもII（ややきれいな水）となった。化学的に見ても、生物的に見ても同じような結果となり、調査地点の汚れは少ないといえる。そのほか、ヒゲナガカワトビケラが確認できた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	富士川		事務所名	甲府河川国道事務所								
調査地点	富山橋付近		所在地	南巨摩郡身延町波高島		調査日	平成23年10月19日								
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定															
I	きれいな水	数	判定	II	ややきれいな水	数	判定	III	きたない水	数	判定	IV	とてもきたない水	数	判定
	アミカ類			◎イシマキカイ				◎イソコツブムシ				アメリカザリガニ			
	ナミウズムシ			オオシマトビケラ				タイコウチ				エラミミズ			
	カワゲラ類	8	●	カワニナ類				タニシ類				サカマキガイ			
	サワガニ			ゲンジボタル				◎ニホンドロソコエビ				ユスリカ類			
	ナガレトビケラ類			コオニヤンマ				シマイシビル				チョウバエ類			
	ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類	3	●		ミズカマキリ							
	ブユ類			スジエビ				ミズムシ							
	ヘビトンボ			ヒラタドロムシ	2	●									
	ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ											
1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		2	1.	○と●の個数			1.	○と●の個数		
2.	●の個数		1	2.	●の個数		2	2.	●の個数			2.	●の個数		
3.	合計		2	3.	合計		4	3.	合計			3.	合計		
調査結果		II		指標生物出現数		3									

### 調査状況写真



⑥[本川]南部橋：独自調査

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	富士川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	南部橋付近	所在地	南巨摩郡南部町内船	調査日	平成 23 年 10 月 19 日

調査に参加した学校名：なし

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.5（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れの少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、I がきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：II（ややきれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れの少ない水となった。また、指標生物による水質階級においてもII（ややきれいな水）となった。雨の影響で増水しており、川の様子もかなり変わっていた。水生生物もヒラタドロムシが3匹のみ確認できただけだった。泥や細かい砂が石と石の隙間に詰まっており浮石がなくなっていた。また石の表面も泥で覆われており、水生生物が定着しにくい環境になっていたと考えられる。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川	河川名	富士川	事務所名	甲府河川国道事務所						
調査地点	南部橋付近	所在地	山梨県南巨摩郡南部町内船	調査日	平成23年10月19日						
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定											
I きれいな水	数	判定	II ややきれいな水	数	判定	III きたない水	数	判定	IV とてもきたない水	数	判定
アミカ類			◎イシマキカイ			◎イソコツブムシ			アメリカザリガニ		
ナミウズムシ			オオシマトビケラ			タイコウチ			エラミミズ		
カワゲラ類			カワニナ類			タニシ類			サカマキガイ		
サワガニ			ゲンジボタル			◎ニホンドロソコエビ			ユスリカ類		
ナガレトビケラ類			コオニヤンマ			シマイシビル			チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類			ミズカマキリ					
ブユ類			スジエビ			ミズムシ					
ヘビトンボ			ヒラタドロムシ	3	●						
ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ								
1. ○と●の個数			1. ○と●の個数		1	1. ○と●の個数			1. ○と●の個数		
2. ●の個数			2. ●の個数		1	2. ●の個数			2. ●の個数		
3. 合計			3. 合計		2	3. 合計			3. 合計		
調査結果	II					指標生物出現数	1				

### 調査状況写真



⑦[支川]中村川：南部町立栄小学校

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	中村川		事務所名	甲府河川国道事務所								
調査地点	中村川下流		所在地	山梨県南巨摩郡南部町内船		調査日	平成23年8月31日								
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定															
I	きれいな水	数	判定	II	ややきれいな水	数	判定	III	きたない水	数	判定	IV	とてもきたない水	数	判定
	アミカ類			◎イシマキカイ				◎イソコツブムシ				アメリカザリガニ			
	ナミウズムシ			オオシマトビケラ				タイコウチ				エラミミズ			
	カワゲラ類			カワニナ類				タニシ類	2	○		サカマキガイ			
	サワガニ	3	●	ゲンジボタル				◎ニホンドロソコエビ				ユスリカ類			
	ナガレトビケラ類			コオニヤンマ				シマイシビル				チョウバエ類			
	ヒラタカゲロウ類	4	●	コガタシマトビケラ類	3	●		ミズカマキリ							
	ブユ類			スジエビ				ミズムシ							
	ヘビトンボ			ヒラタドロムシ											
	ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ											
1.	○と●の個数		2	1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		
2.	●の個数		2	2.	●の個数		1	2.	●の個数		1	2.	●の個数		
3.	合計		4	3.	合計		2	3.	合計		1	3.	合計		
調査結果		I		指標生物出現数		4									

### 調査状況写真



## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	中村川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	中村川下流	所在地	南巨摩郡南部町内船	調査日	平成 23 年 8 月 31 日

### 調査に参加した学校名：南部町立栄小学校

#### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きくとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.5（中性）

#### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れが少ない水）

#### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：I（きれいな水）

#### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れが少ない水となった。指標生物による水質階級においても I（きれいな水）となった。化学的に見ても、生物的に見ても同じような結果となり、調査地点の汚れは少ないといえる。サワガニ、ヒラタカゲロウ類、コガタシマトビケラ類といった指標生物の他、カワトンボ、ヒゲナガカワトビケラ、アブラハヤ、ヨシノボリ、ドジョウなど多種多様な生物が多数確認できた。

⑧[本川]蓬萊橋：富士市立富士川第二小学校

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	富士川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	蓬萊橋付近	所在地	静岡県富士宮沼久保	調査日	平成 23 年 7 月 8 日

調査に参加した学校名：富士市立富士川第二小学校

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きくとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：8.0（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：3（汚れが少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：IV（とてもきたない水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れの少ない水となったが、指標生物による水質階級はIV（とてもきたない水）となった。化学的に見た様子と、生物的に見た様子では差があった。調査当日は増水していたので水質測定は流れのあるところ行い、生物調査は流れのほとんどないところで行った。そのため、このような結果になったと考えられる。指標生物ではユスリカ類やサカマキガイが多く、その他アブラハヤやアメンボなども確認できた。一方、流れの速いところでは、きれいな水の指標生物であるヘビトンボやナガレトビケラ類等も捕まえることができた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	富士川		事務所名	甲府河川国道事務所				
調査地点	蓬萊橋付近		所在地	静岡県富士宮市沼久保		調査日	平成23年7月8日				
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定											
I きれいな水	数	判定	II ややきれいな水	数	判定	III きたない水	数	判定	IV とてもきたない水	数	判定
アミカ類			◎イシマキカイ			◎イソコツブムシ			アメリカザリガニ		
ナミウズムシ			オオシマトビケラ			タイコウチ			エラミミズ		
カワゲラ類			カワニナ類			タニシ類	1	○	サカマキガイ	3	●
サワガニ			ゲンジボタル			◎ニホンドロソコエビ			ユスリカ類	8	●
ナガレトビケラ類	2	○	コオニヤンマ			シマイシビル	2	○	チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類	2	○	コガタシマトビケラ類	2	○	ミズカマキリ					
ブユ類			スジエビ	1	○	ミズムシ					
ヘビトンボ	1	○	ヒラタドロムシ	1	○						
ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ								
1. ○と●の個数	3		1. ○と●の個数	3		1. ○と●の個数	2		1. ○と●の個数	2	
2. ●の個数			2. ●の個数			2. ●の個数			2. ●の個数	2	
3. 合計	3		3. 合計	3		3. 合計	2		3. 合計	4	
調査結果 IV						指標生物出現数	10				

### 調査状況写真



⑨[支川]沼久保：富士市立富士川第一小学校

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	沼久保		事務所名	甲府河川国道事務所				
調査地点	沼久保		所在地	静岡県富士宮市沼久保		調査日	平成23年9月27日				
注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定											
I きれいな水	数	判定	II ややきれいな水	数	判定	III きたない水	数	判定	IV とてもきたない水	数	判定
アミカ類			◎イシマキカイ			◎イソコツブムシ			アメリカザリガニ		
ナミウズムシ			オオシマトビケラ			タイコウチ			エラミミズ		
カワゲラ類			カワニナ類			タニシ類	15	○	サカマキガイ		
サワガニ	2	○	ゲンジボタル			◎ニホンドロソコエビ			ユスリカ類	20	●
ナガレトビケラ類			コオニヤンマ			シマイシビル			チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類	2	○	ミズカマキリ					
ブユ類			スジエビ			ミズムシ	30	●			
ヘビトンボ			ヒラタドロムシ								
ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ								
1. ○と●の個数		1	1. ○と●の個数		1	1. ○と●の個数		2	1. ○と●の個数		1
2. ●の個数			2. ●の個数			2. ●の個数		1	2. ●の個数		1
3. 合計		1	3. 合計		1	3. 合計		3	3. 合計		2
調査結果	III					指標生物出現数	5				

### 調査状況写真



## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	沼久保	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	沼久保	所在地	静岡県富士宮市沼久保	調査日	平成 23 年 9 月 27 日

調査に参加した学校名：富士市立富士川第一小学校

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きくとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.2（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：3（汚れが少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：Ⅲ（きたない水）

### 調査結果の総括

台風の影響で富士川が増水しており、現場での調査ができなかったため、沼久保で水生生物および河川水を採取し、富士市立富士川第一小学校の校庭で調査をおこなった。パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れが少ない水となったが、指標生物による水質階級においてはきたない水となった。雨の影響で増水しており、河川水が希釈され COD が低い値を示したと考えられるが、水生生物の種類から通常は今回よりも汚れた水が流れていることが予測できた。ウナギ、ナマズ、鮎などの魚も確認できた。

⑩[本川]富士川橋：独自調査

## 平成 23 年度 水生生物調査結果まとめ

水系名	富士川	河川名	富士川	事務所名	甲府河川国道事務所
調査地点	富士川橋付近	所在地	静岡県富士宮市岩瀬	調査日	平成 23 年 10 月 19 日

調査に参加した学校名：なし

### pH

水素イオン濃度：水がアルカリ性か酸性かを調べる。数値が小さいと酸性、数値が大きいとアルカリ性、7 付近が中性となる。

結果：7.5（中性）

### COD

化学的酸素要求量：有機物の量（汚れの量）を調べる。数値が大きくなるにつれて汚れていることになる。簡易的な調査であるので目安としては、0～3 で汚れが少ない水、4～7 で汚れている水、8 以上でとても汚れている水となる。

結果：2（汚れの少ない水）

### 指標生物による水質階級

川にすんでいる指標生物を調査することにより、水の汚れを調査する。I～IVで判定し、Iがきれいな水、IVが大変きたない水となる。

結果：I（きれいな水）

### 調査結果の総括

パックテストを用いた簡易水質調査では、中性、汚れの少ない水となった。また、指標生物による水質階級においても I（きれいな水）となった。雨の影響で増水しており、川の様子もかなり変わっていた。水生生物の種類、数は少なかったが、テナガエビが 10 匹程度確認できた。

## 平成23年度 水生生物調査結果（調査状況写真）

水系名	富士川		河川名	富士川		事務所名	甲府河川国道事務所								
調査地点	富士川橋付近		所在地	静岡県富士宮市岩淵		調査日	平成23年10月19日								
<small>注1 ◎は、海水が少しまじっている汽水域の生物 注2 判定は「川の生き物を調べよう 水生生物による水質判定」によって判定</small>															
I	きれいな水	数	判定	II	ややきれいな水	数	判定	III	きたない水	数	判定	IV	とてもきたない水	数	判定
	アミカ類			◎イシマキカイ				◎イソコツブムシ				アメリカザリガニ			
	ナミウズムシ			オオシマトビケラ				タイコウチ				エラミズ			
	カワゲラ類	1	●	カワニナ類				タニシ類				サカマキガイ			
	サワガニ			ゲンジボタル				◎ニホンドロソコエビ				ユスリカ類			
	ナガレトビケラ類			コオニヤンマ				シマイシビル				チョウバエ類			
	ヒラタカゲロウ類			コガタシマトビケラ類	1	●		ミズカマキリ							
	ブユ類			スジエビ				ミズムシ							
	ヘビトンボ	1	●	ヒラタドロムシ											
	ヤマトビケラ類			○ヤマトシジミ											
1.	○と●の個数		2	1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		1	1.	○と●の個数		1
2.	●の個数		2	2.	●の個数		1	2.	●の個数		1	2.	●の個数		1
3.	合計		4	3.	合計		2	3.	合計		2	3.	合計		2
調査結果		I		指標生物出現数		3									

### 調査状況写真



# アンケート結果

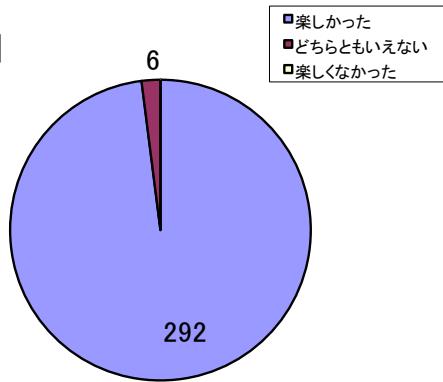
(水生生物調査に参加した小学生のアンケート結果)

# 水生生物調査による簡易水質判定 アンケート

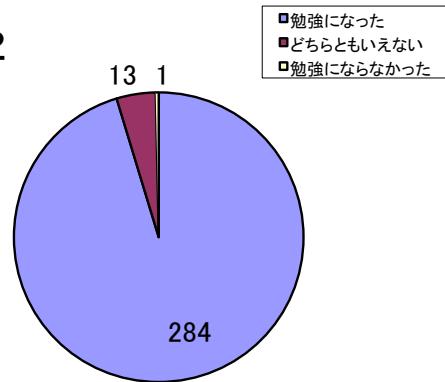
【全小学校合計 298名】

## 「調査に参加してどう思いましたか？」

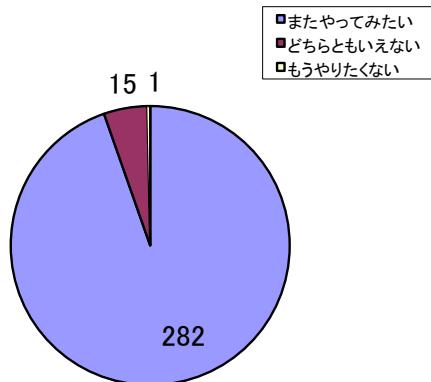
質問1



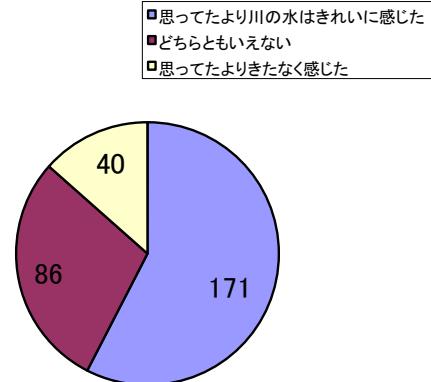
質問2



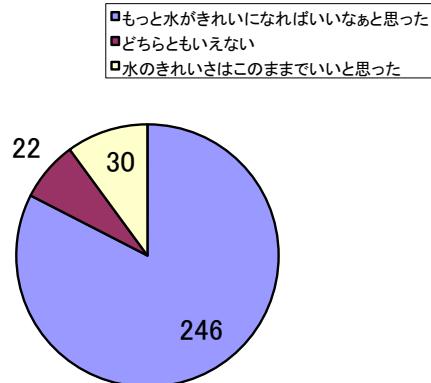
質問3



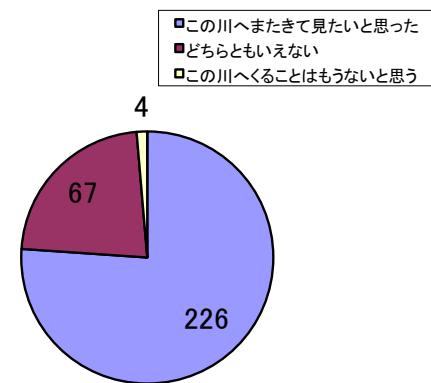
質問4



質問5

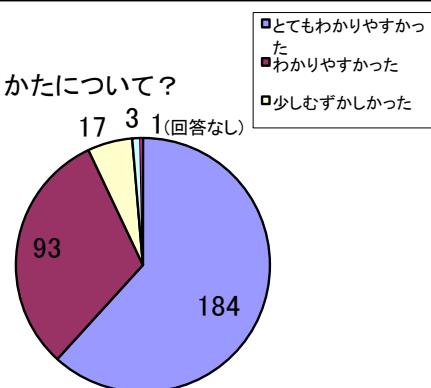


質問6



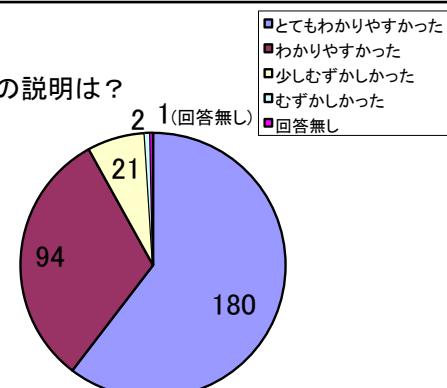
質問7

調査のやりかたについて？



質問8

調査結果の説明は？



質問9

水のきれいさがわかりましたか？

